

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



魅せた、築いてきた強い絆！ ～突然の休校にも負けない絆！～

新型コロナウイルス感染症対策で突然の国からの一斉休校要請。翌2/28に急遽市内一斉休校決定。その対応にバタバタと追われる中1・2年生全員での卒業式出席が叶わないことを知った執行部が、校長室にやってきました。3年生にこれまでの感謝の思いを伝えるために、一生懸命に皆で合唱に取り組んできたので、グラウンドから教室にいる3年生に歌声を届けさせてほしいという訴えでした。全員で思いを伝えることができるのは今日しかない、お願いします…と訴えるその瞳はキラキラと輝いていました。もちろん即OKを出し、後輩たちはグラウンドに整列。生徒会長が大きな声で教室にいる3年生に声をかけ、全員ベランダに。(この時だけ特別に許可です)



あふれる涙を必死にこらえながら感謝の思いを伝えた後輩たち、その姿を上から嬉しさと切なさが溢れる表情で見つめる3年生たち。歌声は校舎のはるか高くまで届く素晴らしいものでした。その後の全員での全力校歌は最高に心震えました。なんてすごい熱血ドラマを創り出せる学校なんだと、見守る教師たち皆涙が止まりませんでした。そして、次の週から臨時休校となり、学校から生徒の声が消えました。むなしく、寂しい、体調・安全確認の電話連絡、家庭訪問を繰り返す日々が続きましたが、一人も体調不良が出ずに、無事卒業式を迎えることができました。「命・生きる」をテーマに三年間熱い熱血物語を作ってきた71人は、やはりゆるがぬ強い絆で結ばれていました。練習もできない状況の中でしたが、保護者の深い愛に見守られ、仲間と先生との強くてあったかい絆で、見事一発勝負で素晴らしい卒業式にしてくれました。笑顔いっぱい、涙いっぱいの最高の瞬間を、会場にいたもの皆で味わうことができました。本来であれば日頃から大変お世話になった区長さんをはじめ地域の皆様にも参列していただきかけたところですが、情勢を鑑み規模縮小で行わせていただきました。誠に申し訳ありませんでした。71人をこれまで温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。71人の卒業生たちは、10連休や記録的な猛暑の中、令和の時代の幕開けと共に一中史上初の体育祭5月開催に挑み、見事に「日本一熱く、日本一温かい体育祭」を創り上げました。また、

自慢とこだわりの合唱では、その圧倒的な存在感で聴くものすべての心を感動で埋め尽くしました。まさに「伝説の学年」として、後輩たちを「日本一熱く、絆強き学校」への道に導いてくれました。特



取りこぼさない絆づくり！ 仲間の困りやきつさに寄り添い、その背景にある暮らしにまで関わろうとする「生活まるごと生き合う班」は、まぎれもなく日本一でした。この津久見でしか経験できない熱血物語！71の熱血魂は永久不滅なり！

